



きずな

4部リーグIブロック

Iブロックは、若葉ボンバーズ、花川南、上野幌西、JSNアクア、Safilva、厚別アスリート、札幌南、日新の8チームで、全試合の試合時間を15分ハーフで10節まで前後半に飲水タイムを設けて行いました。拮抗した戦いが多く見られ14節までのリーグ戦全56試合中同点が7試合、1点差が20試合、2点差4試合、3点11試合、4点以上14試合で全チームの得点が211点、失点が211点で得失点差0点の結果となりました。

1位はSafilvaで、11勝2分1敗勝点35、2位JSNアクア10勝4敗勝点30、3位厚別アスリート6勝5分3敗勝点23、4位上野幌西7勝1分6敗勝点22、5位日新6勝3分5敗勝点21、

6位札幌南5勝2分7敗勝点17、7位若葉ボンバーズ2勝1分11敗勝点7、8位花川南2勝12敗勝点6の成績であった。



1位となったSafilva U-12



石狩スポーツ広場で2ピッチでの試合風景

1位となったSafilvaはGKを中心とした守備の意識が高く、早い切替から人数を掛けての攻撃等チームとしてまとまりのあるプレーが多く見られ、総得点49（1試合当たり3.5点）、失点14（1試合当たり1点）と安定した内容であった。2位となったJSNアクアは総得点51、失点10と攻守にまとまりのあるチームで4敗全て1点差の試合で、この上位2チームの戦いぶりが強く印象に残った。また、全試合で警告等が無くフェアプレーを意識した戦いで、試合を重ねる毎に成長する姿も多く見られました。

リーグ戦の結果を受け、10月30日快晴無風の絶好の中で、今期初めて観戦者の制限が無く、多くの保護者が見守る中で行われた上位・下位トーナメント戦は、リーグ戦の結果と同じ順位と順当な結果となりましたが、

1位決定戦Safilva対JSNアクア戦は、お互いめまぐるしい攻守の中で、拮抗した戦いが続き、前・半それぞれ終了間際追い付く展開から4:4の同点となり、PK戦も5人目まで進み、Safilvaが5:4で制したが、リーグ戦最終にふさわしい戦いで、全日程を終了しました。

今年度もコロナ渦で大幅な日程変更がありましたが、会場を全日程石狩スポーツ広場2面を確保出来、その都度、本リーグ参加各チームの協力を得て、無事8日目の全日程を消化し、観戦者の制限等も守られ、円滑にリーグ戦を運営することが出来ました。

来年度は、コロナ渦の影響を受けず、従来の形で行われる事を祈念しています。



全日程終了後の終了式の様子